

JF-IETF-RFC8496

P-Charge-Info: SIP の  
プライベートヘッダフィールド  
(P-Header)の拡張

P-Charge-Info: A Private Header Field (P-Header)  
Extension to the Session Initiation Protocol (SIP)

第 1 版

2019 年 5 月 23 日制定

一般社団法人

情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE

本書は、一般社団法人情報通信技術委員会が著作権を保有しています。  
内容の一部又は全部を一般社団法人情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

## 目次

<参考> .....	4
1. 標準の概要 .....	5
2. 本標準で規定する内容 .....	5

## <参考>

### 1. 国際勧告等との関係

本標準は、IETFにおいて制定された RFC 8496 に準拠している。

### 2. 上記国際勧告等に対する追加項目等

#### 2.1. オプション選択項目

特になし

#### 2.2. ナショナルマター項目

特になし

#### 2.3. 原標準に対する変更項目

特になし

### 3. 改版の履歴

版数	制定日	改版内容
第1版	2019年5月23日	制定

### 4. 工業所有権

TTCの「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTCホームページで公開されている。

### 5. その他

#### (1) 参照する主な勧告、標準

IETF RFC: RFC 2119, RFC 3261, RFC 5727, RFC 8174, RFC8217

- (2) 本出版は、具体的な規定内容を含んでいない。規定はすべて準拠元である IETF RFC によっている。  
具体的な規定内容は RFC を参照する必要がある。

### 6. 標準作成部門

信号制御専門委員会

## 1. 標準の概要

本標準は、P-Charge-Info ヘッダの現在の使用法について文書化したものである。P-Charge-Info ヘッダは既存のセッション開始プロトコル(SIP)プライベートヘッダフィールド(P-Header)であり、請求されるべき相手に関する課金情報を伝達するために用いられる。この P-Header は、現在複数の機器ベンダおよび通信事業者の製品で用いられており、また、少なくとも 2007 年以降用いられている。本標準では、このヘッダフィールドの IANA への登録について詳述している。

## 2. 本標準で規定する内容

本標準で規定する内容は以下の IETF RFC による。

IETF RFC 8496: 「P-Charge-Info: A Private Header Field (P-Header) Extension to the Session Initiation Protocol (SIP)」